

「Gender・Bias」・・・って、聞いたことがありますか？

(社会的性役割) (偏見)

女らしさ



従順・受動的
家事・育児が仕事
か弱い・おしとやか
経済力はいらぬ
頼る・依存する
優しい・情緒性
嫁にもらわれていく



ジェンダーのま までいると

頼りたい 甘えたい
可愛い子だと思われたい。相手の好みに合わせる
はっきりNO!と言えない。言わない。
相手の顔色を窺って行動する
(私ついていく人)
男性にとって都合のいい女になろうとする

男らしさ



男は仕事・家族を養う
弱いものを守る
競争には勝つ(出世)
権力を持つ

助けを求めない
弱音を吐かない
泣かない



ジェンダーのま までいると

強くあらねば・・・頼られなくては・・・、自分が上に立って、リードしなくては・・・、だから(僕決める人)
泣いたり、弱い姿は見せられない。
こんなにやってやっているのだから、自分が優先されて当たり前。
「男らしさの鎧」は女性に対して力と支配を持ちやすい。
上下関係・主従関係

デートDV(交際中の暴力) / DV(家庭内暴力)・虐待は毎日、日常茶飯のように起きています。

加害者の95%は男性です。

デートDVの被害者は6人に一人の女性
DVの被害者は4人に一人の女性が被害者です。

そのうち10人に一人の人は毎日のように暴力を受けており、

20人に一人の人は死ぬ程の暴力を受けています。

そして3日に一人の妻が、夫に殺されています。

6日に一人の夫が妻に殺されています。

(警視庁補発表)

DVは命に関わる程の怖いものです。

今回の研修会は、デートDV / DV、虐待の原因の一つを作っている「ジェンダーバイアス」について、お話し頂きます。
デートDV / DV、虐待は、誰にでも、年齢・学歴・職業・人種を問わず、世界中で起きていることです。

一人一人が自分の中にあるジェンダーを見つけていって頂けたらと思います。
きっと、「これが自分を生きづらくさせていたのだ」と気づかれたら、幸いです。

女性は「女らしさ」を跳ね返す勇気を！ 男性は「男らしさの鎧」をはずす勇気を！

常に偏見(Bias)をチェックするアンテナ(「なんかおかしいナと思う心」)を持って、誰でもが「社会的性役割」ではなく、自分で選んで、自分で決めて、「自分らしさ」で人生を楽しんでいけたら、と思っています。男女平等社会を築いていきましょう。

* 申込先⇒女性と子どものいのちを守るぐんま支援センター

電話&FAX 027-215-5606

